



尾花を背に咲
(2008年10月)



黄葉の裏に
(2008年10月)

て味わい、去りゆく秋を惜
しんだ。
(生物エッセイスト)写
真も。毎月第2日曜日に掲
載します)

くらし 家庭

木製ベッド 化学物質に注意

組み立て式の木製ベッドから、頭痛や目まいなどのシックハウス症候群の原因とされる化学物質ホルムアルデヒドが発生し、中には厚生労働省の指針値を上回る商品もあることが、国民生活センターのテストで明らかになった。センターでは「購入時には、ホルムアルデヒドを低減した商品を選ぶなどの対応を」と消費者に呼び掛けている。

全国の消費生活センターには2003年4月から今年8月までに、ベッドから出るにおいなどに関する相談が214件寄せられていた。「頭が痛い」「息苦しい」といった症状を訴える内容は113件のほり、このうち治療に1か月以上かかった事例が11件あった。

においや症状は、合板の接着剤などに使われているホルムアルデヒドが原因とみられるため、国民生活センターは木製ベッドのテストを行った。通信販売などで売られている5万円以下の組み立て式ベッド7点について、試験室に新品を設置し、1日後の室内のホルムアルデヒドの気中濃度を調べた。

ホルムアルデヒドが発生

その結果、すべての商品についてホルムアルデヒドの発生が認められ、うち3点が厚生労働省の室内濃度指針値(1立方メートル0.07・mg)を上回った。最も高いものは指針値の7倍以上にも達していた。一方で、「低ホルムアルデヒド」をうたっている商品2点はいずれも、指針値の約半分濃度に収まった。

テスト結果をふまえ、国民生活センターは、業界団体に対して改善を要望した。化学物質に関する注意表示は、カタログなどになく、購入前に、店員や業者に直接確認を」と勧められている。